

Title	質疑應答
Author(s)	
Citation	地球 (1928), 9(6): 477-478
Issue Date	1928-06-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/183443">http://hdl.handle.net/2433/183443</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

一九二一年 六五、〇〇〇、〇〇〇  
 一九二二年 八〇、〇〇〇、〇〇〇  
 一九二三年 一〇〇、〇〇〇、〇〇〇  
 一九二四年 一四〇、〇〇〇、〇〇〇  
 一九二五年 一八〇、〇〇〇、〇〇〇  
 一九二六年 二二〇、〇〇〇、〇〇〇  
 一九二七年 二五五、〇〇〇、〇〇〇

かやうに最近の人造絹糸は世界的に驚くべき増加をしめした  
 ために各方面に影響した、就中埃及棉花優良絹糸に大なる影  
 響を與へんとしてゐる。天然絹糸たる我國人にも注目すべき  
 形勢ではなからうか。

### ○島根地理學會主催夏期講習會

七月廿六日から五日間松山市島根縣師範學校に於て開催する  
 ●講師及題目。南日本の地帶構造、理學士帷子二郎氏。地球  
 の起原と發達、理學士下間忠夫氏。地理學上より見たる出雲  
 の變遷、文學士松本博氏。地理教授の使命、臺中師範教諭三  
 木英太郎氏。島根縣地誌概觀、島根女師教諭山本熊太郎氏  
 ●野外踏査1.第四日午後宍道地講帶西部……宍道湖北岸・鏡  
 川平野・杵築海岸の砂丘・大社町等  
 2.第五日同東部……大根島の熔岩隧道・夜見濱・境・美保關等  
 指導者前記講師及縣下中等學校教諭數氏  
 ●申込七月十日迄、聽講料二圓詳細は同市師範學校へ問合す  
 こと

### 質疑應答

### 質疑應答

【問】加奈陀產小麥の世界的地位を問ふ 大阪 I 生

【答】小麥の栽培地域及取引市場は殆ど世界的にして七十  
 以上の諸國是を栽培し、且右諸國中の大多數は何れも過剰の  
 分を輸出するか、又は國內需要に不足せる分を輸入するかの  
 孰れかである。然し就中小麥の輸出國として主要なものは加  
 奈陀、米國、亞爾然丁及オーストラリアであつて、英國及歐  
 州諸國は是等諸國より輸出せらるゝ小麥の總量の八〇%以上  
 を消化する世界第一の市場である。

加奈陀は小麥の輸出國中の第一位を占め、最近五ヶ年間に  
 於ける小麥の毎年平均輸出量は國際市場に出づる世界總輸出  
 量の約四〇%を算す、大戰前の一%に達せしに比して格段  
 の進歩である。

北米合衆國は現今世界の小麦總輸出量の約二五%アルゼン  
 チンは二〇%、オーストラリアは一〇%乃至一二%を供給す  
 る、従つて小麥の國際市場の開拓は加奈陀に取つては他の何  
 れの國よりも重要である。又加奈陀では總農作物より得る收  
 入の三分一は小麥の販賣によるのだから、其増減は各階級人  
 士の痛痒を感ずる所である。物價は生産少量の時に騰貴し多  
 量の際には下落する、小麥はこの法則に従ふのであるが、小  
 麥の市價を動かす原因としては、世界の小麦消費額は平均年

額五千萬ブツシエル宛増加するといふ説があること、三十種以上に亙る品質又は等級の小麥が國際市場に出て居ること、中央、歐洲には燕麥や馬鈴薯が豐作の場合農家は之を食用として小麥は市價の高い時に之を輸出すること、小麥の主要輸入國の經濟狀態如何及是等輸入國が外國產小麥の使用に對して制限を設くることあること、並船腹需要の多少が小麥の運賃率に及ぼす效果如何等によつて左右される。

歐洲及英國に於ける經濟狀態は今や一箇年前の同期に比して好況である、購買力が増加した、小麥に對する需要も多いであらう、然るにこの年度で歐洲の小麥は不作であつたし、アルセンチンは例年の産額であつたのに、米國と加奈陀は稀に見る豐作であつたから、こゝ一年間の輸出見込に於て、カナダはやはり世界第一の小麥國である。(F)

小麥輸出額見積(モンスリーコンマシーシャルレター一月號)	二五〇、〇〇〇、〇〇〇ブツシエル
米國	三四〇、〇〇〇、〇〇〇
加奈陀	六五、〇〇〇、〇〇〇
オーストラリア	一六五、〇〇〇、〇〇〇
アルセンチン	二〇、〇〇〇、〇〇〇
ろし	三五、〇〇〇、〇〇〇
其他	八七五、〇〇〇、〇〇〇
合計	八七五、〇〇〇、〇〇〇

【問】蒙古羊毛の種類

【答】

- 一、採毛方法に依る區別
  - 套毛 (套は太くて長い意所謂英語の Fleece にして羊體より剪り取りたる Sheared 剪毛の意)
  - 抓毛 (抓子を用ひて羊毛を抓き落し取りたるもの)
- 二、採毛期節に依る區別
  - 春毛、夏毛、秋毛、寒毛
- 三、羊種又は採毛方法に依る區別
  - (一) 羔羊毛 (Lambs wool) : 生後六乃至八ヶ月の仔羊より剪り取りたる毛
  - (二) 小羊毛 (Hog) : 一歳の幼羊より剪り取りたる毛
  - (三) 羊毛 (普通)

以上

京都 佳登勝藏氏答

- 大套毛 long fleece
- 小套毛 short fleece
- 大抓毛 (long sliw wool)
- 小抓毛 (short sliw wool)
- 撒抓毛 (又は撒抓子) : 生羊毛より梳り取りたるもの
- 皮抓毛 (又は皮抓子) : 羊皮 skin wool or lambs wool 又は死羊より抓き取りたる者 dead wool
- 刮肢毛 : 毛皮の破片より取りたる羊毛